

# 令和 2 年度学校経営計画表（定時制・夜間制）

## 1 学校の現況

学校番号	24		学校名	県立水戸南高等学校				課程	定時制、通信制		学校長名	川内 孝雄				
教頭名	菅谷 則行 (定時制・昼間制)		大塚 哲蔵 (定時制・夜間制)				荒井 豊水 (通信制)		事務室長	千葉 一夫						
教職員数	教諭	64	養護教諭	2	常勤講師	3	非常勤講師	25	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	6	技術職員等	10	計	116
生徒数	課程・学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	定時制(昼)普通科		43	29	34	34	22	26	9	5	108	94	8			
	定時制(夜)普通科		9	5	11	2	7	7	3	1	30	15	4			
	通信制普通科		64	66	55	68	52	64	66	78	237	276	25			
ライフサイエンス		12	24	10	27	13	14			35	65	3				

## 2 目指す学校像

「生徒一人一人のニーズ・スタイルを尊重し、学校本来の大切さを日々感じる高校」

単位制で作る自分の時間割、生活スタイルで選べる3つの課程、たくさんの教員による手厚い指導体制を生かしたセルフビルドの学習を実現する。  
JR水戸駅から徒歩圏内の利便性と緑に囲まれた閑静な環境を生かして、持続可能な心静かな学びを実現する。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	義務教育段階の学習内容の定着が不十分な生徒が多く、学習の習慣が身につけていない生徒が多い。また、自分に自信が持てない生徒や、コミュニケーション能力の乏しい生徒も多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣の確立</li> <li>・就職試験等に対応できる基礎学力の定着</li> <li>・学習意欲を高める指導の工夫と、個に応じた体験的・問題解決的な学習の促進</li> <li>・言語活動の充実</li> </ul>
進路指導	不登校により欠席の多い生徒、コミュニケーション能力が不足している生徒や勤労観・職業観が未熟な生徒も多い。さらに産業構造の変化に伴う雇用形態の多様化や情報化等の影響を受けたことにより、就職できなかった生徒もいる。経済的事情もあり、進学者は少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい勤労観・職業観の育成</li> <li>・組織的・体系的なキャリア教育の充実</li> <li>・進路選択における生徒の主体性の育成</li> <li>・進学希望者への対応</li> </ul>
生徒指導	心因性の不登校ばかりでなく意学的傾向がある生徒、基本的な生活習慣・規範意識や公共心に欠ける生徒等、様々な問題を抱えた多様な生徒が存在している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒理解の深化による信頼関係の構築</li> <li>・基本的な生活習慣、規範意識、公共心や道徳性の育成</li> <li>・学校全体として組織的、計画的な生徒指導</li> </ul>
特別活動	中学校時代に不登校を経験した生徒が多く、集団生活にうまくなじめない生徒が増えている。コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい人間関係の構築や、よりよい学校生活を築こうとする自主的態度の育成</li> </ul>

	能力の不足など、社会性に欠け、良好な集団生活ができない生徒が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事、定通体育大会や生活体験発表会等への参加率の向上</li> <li>・キャリア・パスポートの効果的な活用</li> </ul>
働き方改革	令和元年6月及び10月の超過勤務時間の平均は5時間以内となっており、良好な状況にあるが、勤務時間の終了時刻が21時30となっているため、少しの超過であっても、深夜になってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な校務の遂行</li> <li>・校務分掌内での協働体制の構築</li> </ul>

#### 4 中期的目標

1	文化やスポーツの能力を伸ばす生徒、働きながら学ぶ生徒にも対応できる、単位制や三課程の特色を生かした普通科教育の場として、中学校卒業の生徒が進路先として選ぶ高校であることの定着させる。
2	交通至便な立地にある静かな学びの場で、小中学校で不登校を経験した生徒などが落ち着いて学習できる環境を提供するとともに、学び直しや中途入学の高校生として、一人一人の目標実現に寄与する。
3	髪型や服装の制約によらず、生徒が自ら向き合う場として、学校本来の大切さを感じることで、自らの人間性や創造性を高め、生徒に対して効果的な教育活動を行う。
4	教職員一人一人が働き方改革に取り組み、自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊にすること

#### 5 本年度の重点目標（定時制・夜間制）

重点項目	重点目標
基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力等を育む個に応じた授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で課題小テストを実施し、生徒一人一人の学習状況を把握するとともに、学習形態や指導方法を工夫し、きめ細かな学習指導を行う。</li> <li>・進路希望実現に向けて年3回の実力テスト【コンテスト形式】を実施し、社会習得意欲を高め、必要とされる一般常識・基礎学力等の確実な定着を図る。</li> <li>・進学意欲を促進する指導の工夫し、個に応じた体験的・問題解決的な学習の促進を図る。</li> </ul>
職業観を育むキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全体を通じて、組織的・系統的なキャリア教育を更に充実させ、発達段階に合わせた望ましい勤労観・職業観を育成する。</li> <li>・進路実現に向けて主体的に考え、取り組む態度を養うため、進路に関する情報提供に努める。</li> <li>・進路面談や個別の生徒へのサポートをより充実させ、きめ細かに一人一人のキャリア発達を支援する。</li> <li>・キャリアフェアやハローワーク等の外部機関との連携を一層強化する。</li> </ul>
生徒指導及び道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部機関やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどとの連携を強化し、教育相談体制を充実させ、種々の課題を抱えた生徒に寄り添った指導を行う。</li> <li>・外部機関との連携を充実させ、教員集団の共通理解のもと組織的・計画的な生徒指導を行うことにより、基本的な生活習慣を確立させる。また、「道徳」や実践意欲と態度の育成を図る。</li> <li>・「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止に努め、実態把握や対応を適切に行う。</li> </ul>

特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活体験発表会や晩秋祭に向けホームルーム活動や生徒会活動を活性化させ、望ましい人間関係を形成するとともに自己肯定感・自己有用感を育む。</li> <li>・行事への主体的な取組により、協力して諸問題を解決しようとする実践的な態度を育て、いじめを排除する空気を持った生徒集団を構築する。</li> <li>・南高スピリットアッププログラムを効果的に活用するなど学校行事を充実させ、集団への帰属意識や連帯感を深め、公共の精神を養う。</li> <li>・定通体育大会や生活体験発表会等への参加を奨励し、活動者数の増加に努める。</li> <li>・キャリア・パスポートを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を振り返りながら自己実現につなげていく。</li> </ul>
教職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒たちが予測困難な社会を生き抜く力を育成するために、教職員が学び続ける意欲を持つとともに、チーム学校による共同を推進し、資質の向上を目指す。</li> <li>・働き方改革として、ICTの活用を推進するとともに、PDCAを取り入れ、勤務時間内に的確で効率的、効果的な校務を遂行する。</li> </ul>
情報発信による学校への理解促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等を通じ、学校行事等の様子を発信することで、学校への理解促進を図る。</li> </ul>